

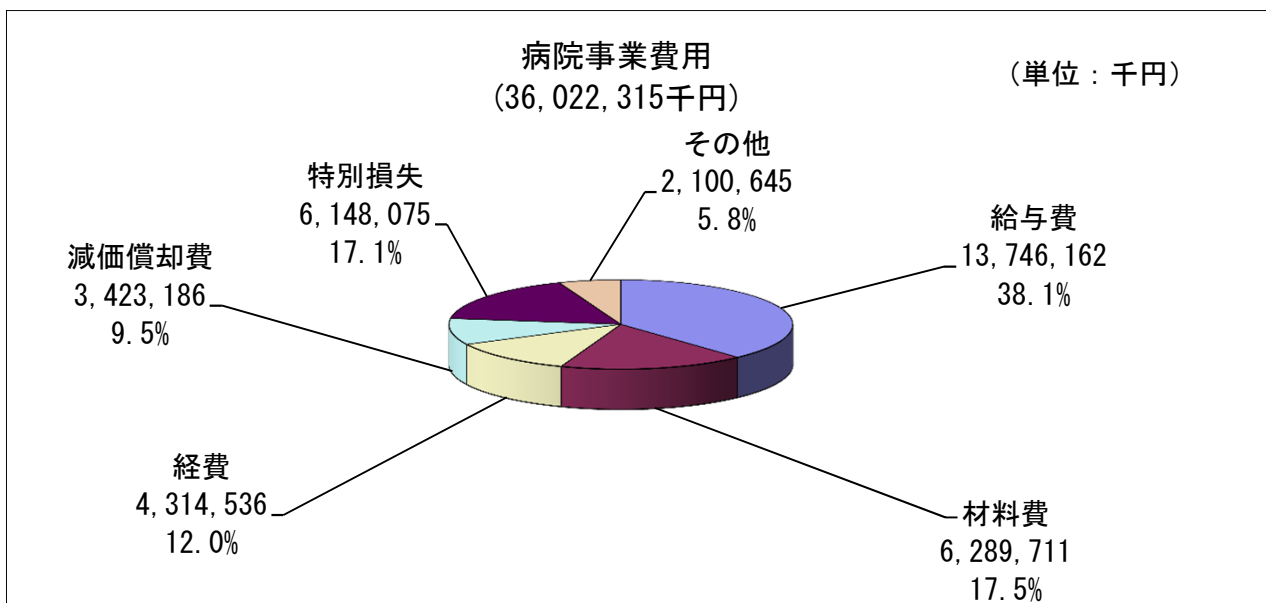
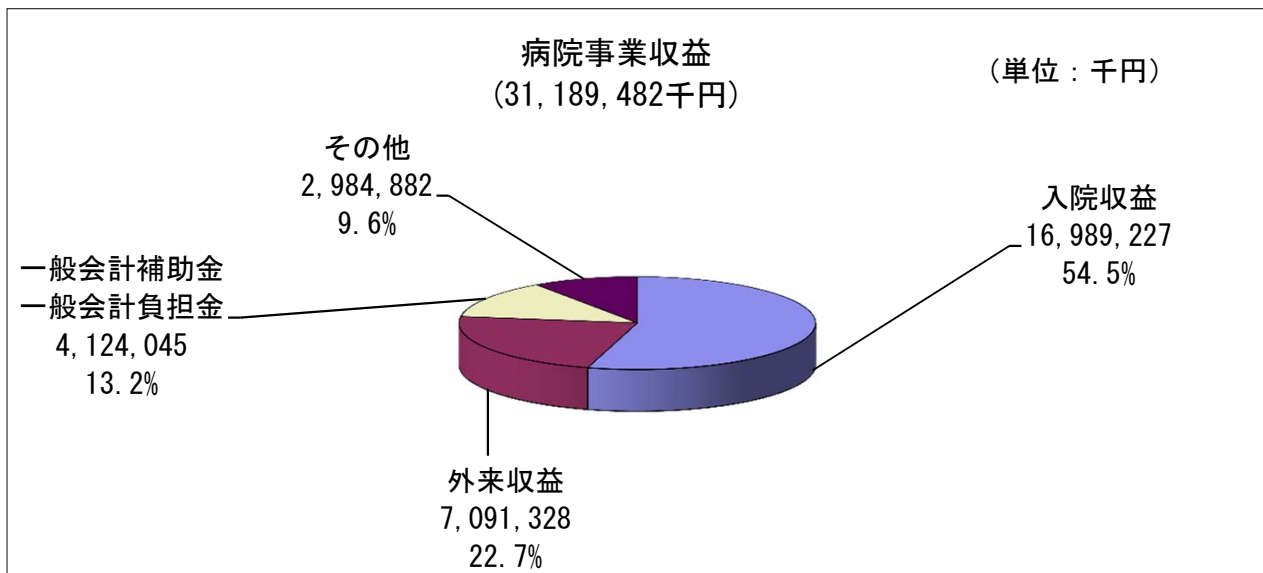
名古屋市病院事業会計 平成26年度決算の概要

1 病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の3市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

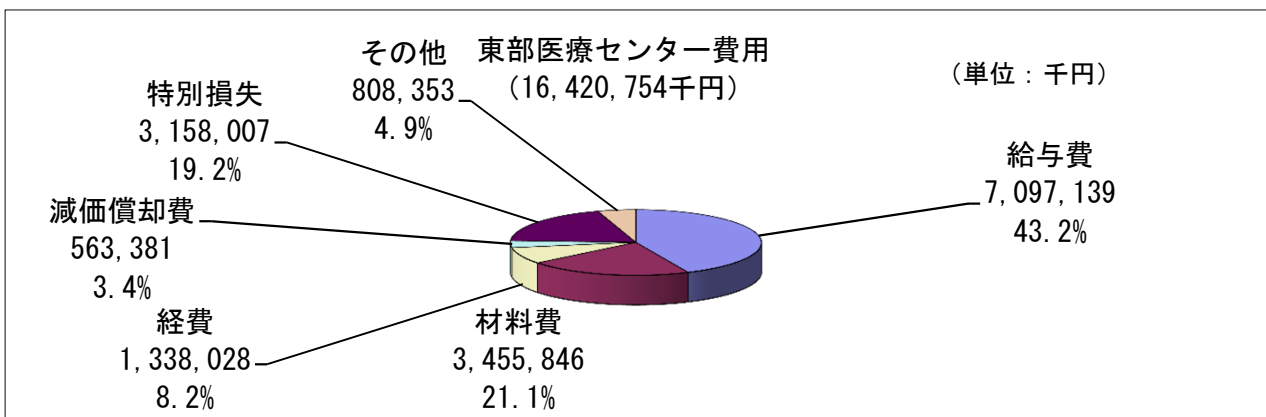
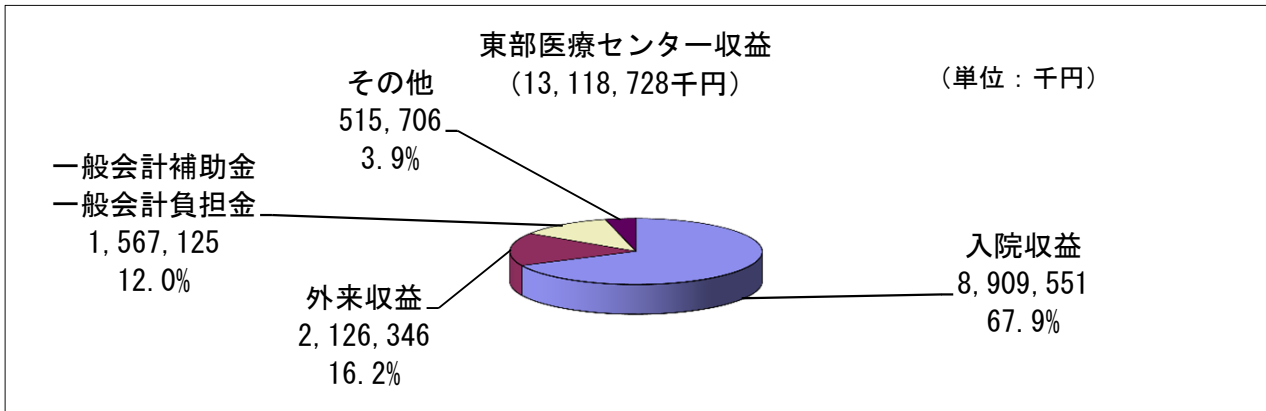
平成26年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、前年度に比べ西部医療センターにおいて入院収益及び外来収益が増加したことなどに伴い、20億2千万円余増の311億8千9百万円余であるのに対し、総事業費用は、看護師職員の増加などによる給与費の増や、地方公営企業会計制度の見直しに伴い引当金を一括計上したことなどにより、58億6千7百万円余増の360億2千2百万円余でした。当年度純損失は前年度より38億4千6百万円余増の48億3千2百万円余であり、当年度未処理欠損金は85億2千3百万円余となっています。

平成26年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは救急・外来棟の改築工事や病棟改築の設計、緑市民病院では南館空調改修工事などを行い、東部医療センター救急・外来棟の開設に向けた診療機器、西部医療センターのエックス線コンピュータ断層診断装置など、各病院の設備充実にも努めました。

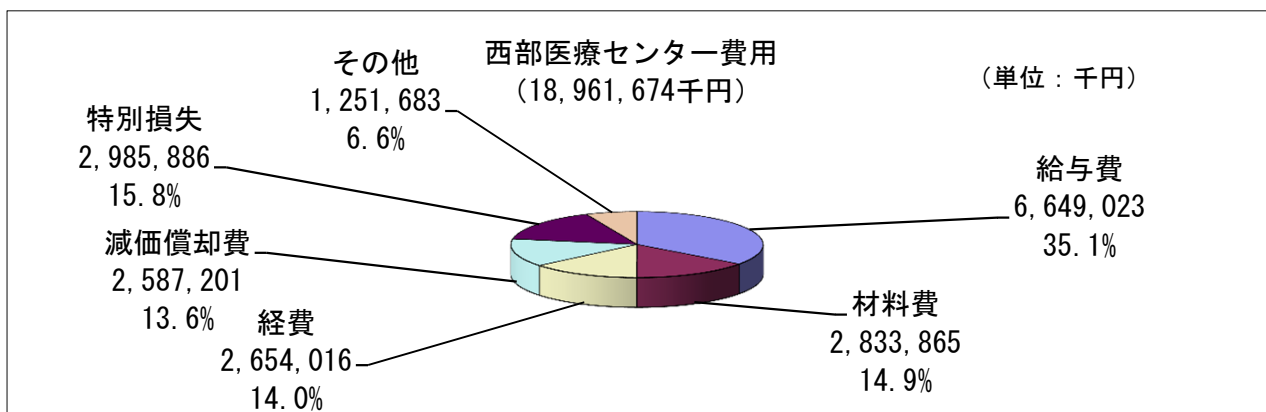
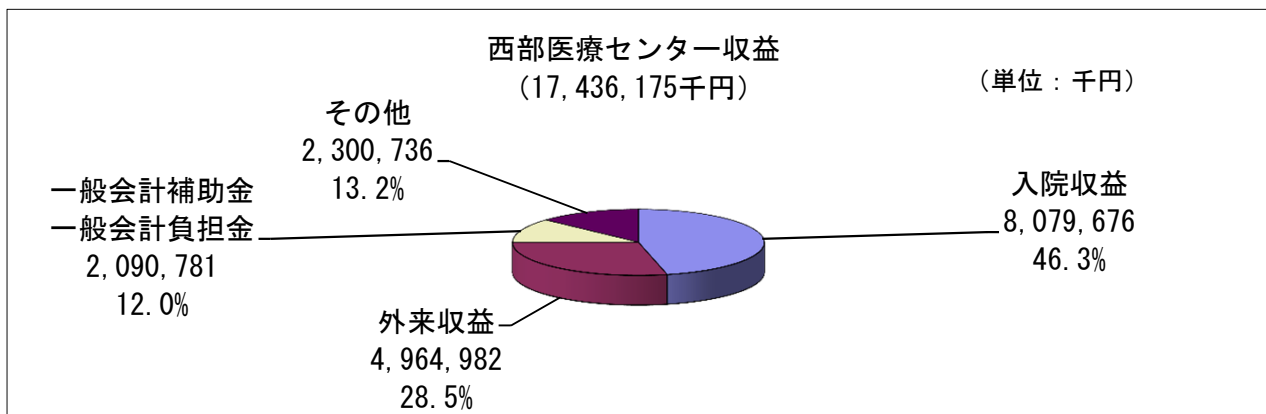


2 各病院の収支

(1) 東部医療センター



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院

